

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第9週の発生動向

□ トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が716例あり、先週(657例)の約1.1倍であった。2023年の累積報告数は54,043例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

□ 全数報告の感染症 (9週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：つつが虫病1例、ウイルス性肝炎1例。5類感染症：梅毒7例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
4類	つつが虫病	小林	60歳代	男	—	発熱、リンパ節腫脹
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	B型	頭痛、全身痛
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	陰囊皮膚変色、かゆみ
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	扁平コンジローマ
		40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	梅毒性バラ疹	
		都城	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳
日南	10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は979人(定点当たり22.9)で、前週比86%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

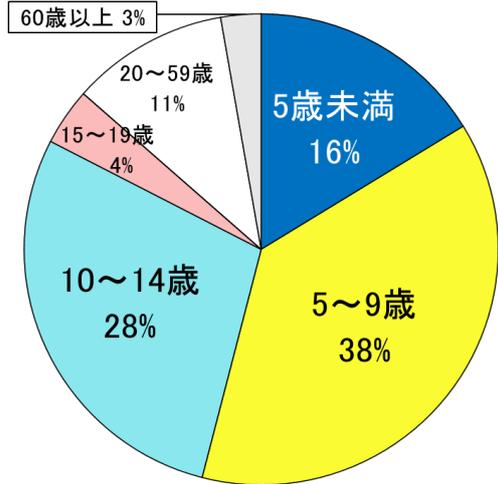
報告数は511人(8.8)で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.2)の約1.4倍であった。日向(17.8)、延岡(15.4)、都城(13.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の約4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

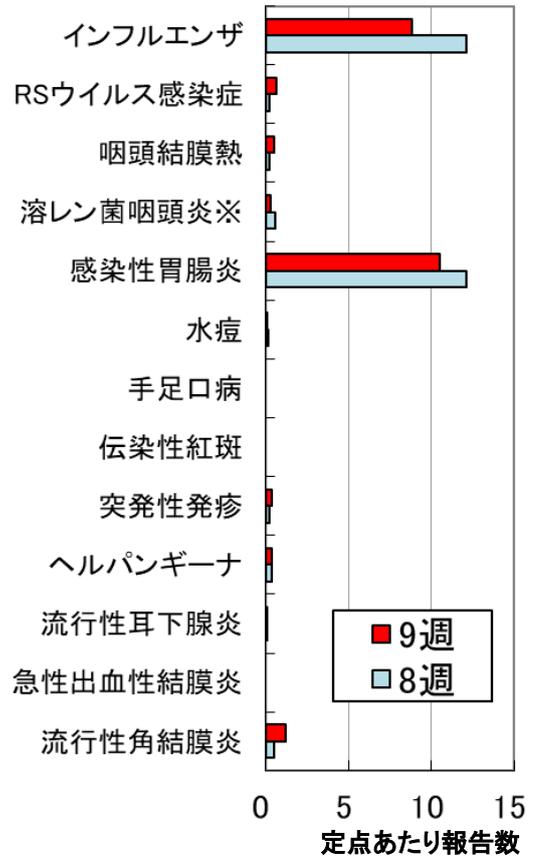
報告数は379人(10.5)で、前週比87%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.8)の約1.2倍であった。小林(17.7)、中央(14.0)、都城(13.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

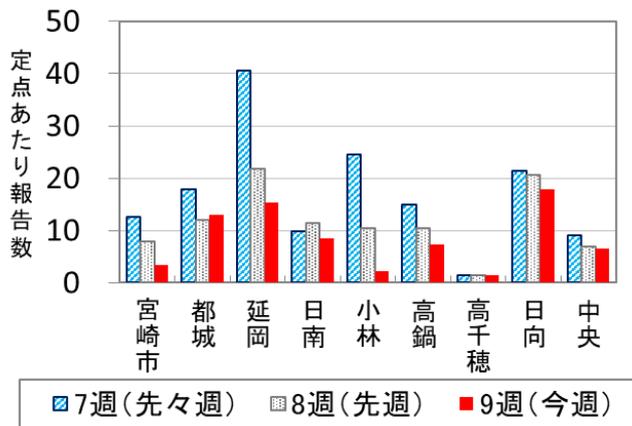
インフルエンザ年齢群別グラフ(第9週)



《前週との比較》

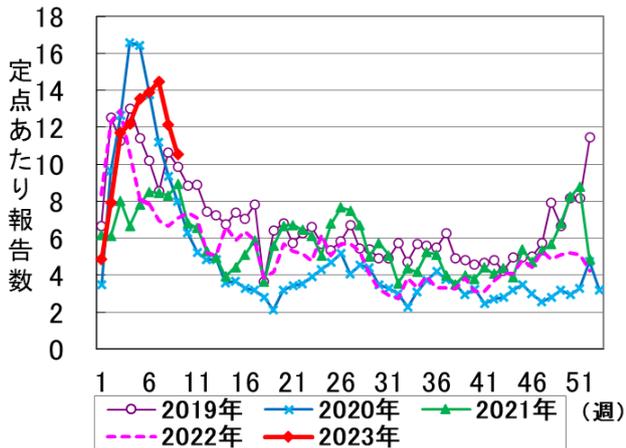


インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

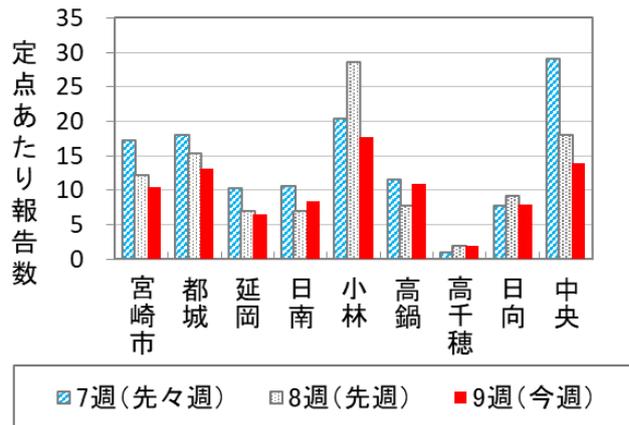


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：延岡保健所より1例報告があり、年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	インフルエンザ(13.0)
延岡	インフルエンザ(15.4)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(17.8)
中央	なし

※流行注意報レベル基準値*
・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年3月6日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	5～9歳	女	2023.01.16	発熱(38.1℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2023.01.27
<i>Salmonella</i> Typhi (O9:d:-)	30歳代	女	2023.01.30	高熱、比較的徐脈、バラ疹、下痢、便秘	血液	2023.02.16

○海外渡航歴のある30代の女性から *Salmonella* Typhi (O9:d:-) が分離された。腸チフスは、チフス菌 (*Salmonella* Typhi) による全身性疾患で、通常のサルモネラ感染症と異なり、発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、便秘、脾腫、比較的徐脈などの症状を呈し、全数報告対象(3類感染症)となっている。チフス菌は、患者の糞便や尿で汚染された食品、水が感染源となり経口的に感染する。腸チフスの流行地域(東南・南アジア地域)に渡航する方は、予防として十分に加熱された飲食物の摂取や徹底した手洗い(食事前やトイレ後)を心がける必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parecho virus 1 Human herpes virus 6	0～4歳	男	2022.11.15	40.7℃、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)、 発疹(丘疹)、リンパ節腫脹、下痢	咽頭ぬぐい液	2023.02.28
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.01.19	インフルエンザA型、39.0℃、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2023.02.27
Influenza virus AH3	5～9歳	女	2023.01.23	インフルエンザA型感染症、40.1℃、上気道炎(咽頭痛)、 下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2023.02.27
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.01.24	インフルエンザA型、40.0℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2023.02.27
Influenza virus AH3	5～9歳	女	2023.01.30	インフルエンザA型(今シーズン2度目)、39.5℃、 上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2023.02.27

○発熱、発疹の症状のある幼児1名から、ヒトパレコウイルス1型 (HPeV-1) が検出された。HPeVは小児では比較的軽症の胃腸炎や上気道炎の原因となり、乳児では重症例の報告がある。HPeV感染症に対する予防としては、マスク着用や手洗いを中心とした衛生行動の徹底が必要である。

○インフルエンザと診断された4名からインフルエンザウイルス AH3 が分離された。2023年3月8日現在における全国のインフルエンザウイルス(2022/2023シーズン)分離・検出報告数は、AH3 亜型が818株、AH1pdm09が23株、B型8株(ビクトリア系統)検出されている。

🇯🇵 全国 2023 年第 8 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	161 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	16 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	10 例	サル痘	5 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	日本紅斑熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	25 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘(入院例)	5 例	梅毒	173 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	11 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 88%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は感染性胃腸炎、水痘及び手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 55,873 人(11.3)で前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.7)の約 1.5 倍であった。石川県(48.2)、岩手県(41.4)、福井県(33.2)からの報告が多く、年齢群別では 5 歳から 9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 19,528 人(6.2)で前週比 85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.4)の約 1.4 倍であった。愛媛県(13.9)、富山県(12.6)、大分県(12.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第09週(02月27日～03月05日)

疾病名		第08週	第09週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	703	511	55	130	108	42	9	44	3	107	13
	定点当り	12.12	8.81	3.44	13.00	15.43	8.40	2.25	7.33	1.50	17.83	6.50
RSウイルス 感染症	報告数	7	22	1	3	9	1		6			2
	定点当り	0.19	0.61	0.10	0.50	2.25	0.33	0.00	1.50	0.00	0.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	9	17	7	1	3	1	2	1		1	1
	定点当り	0.25	0.47	0.70	0.17	0.75	0.33	0.67	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	21	11	4	2		3					2
	定点当り	0.58	0.31	0.40	0.33	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	437	379	104	79	26	25	53	44	2	32	14
	定点当り	12.14	10.53	10.40	13.17	6.50	8.33	17.67	11.00	2.00	8.00	14.00
水痘	報告数	5	3						2		1	
	定点当り	0.14	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	7	13	8	3		1	1				
	定点当り	0.19	0.36	0.80	0.50	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	14	3		9			2			
	定点当り	0.36	0.39	0.30	0.00	2.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1									1
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	7	6	1							
	定点当り	0.50	1.17	2.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第01週～09週)

2類感染症	結核	20例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	8例(1)
5類感染症	ウイルス性肝炎	2例(1)	急性弛緩性麻痺	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	1例
	梅毒	23例(7)	百日咳	2例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	54043例(716)		

()内は今週届出分、再掲